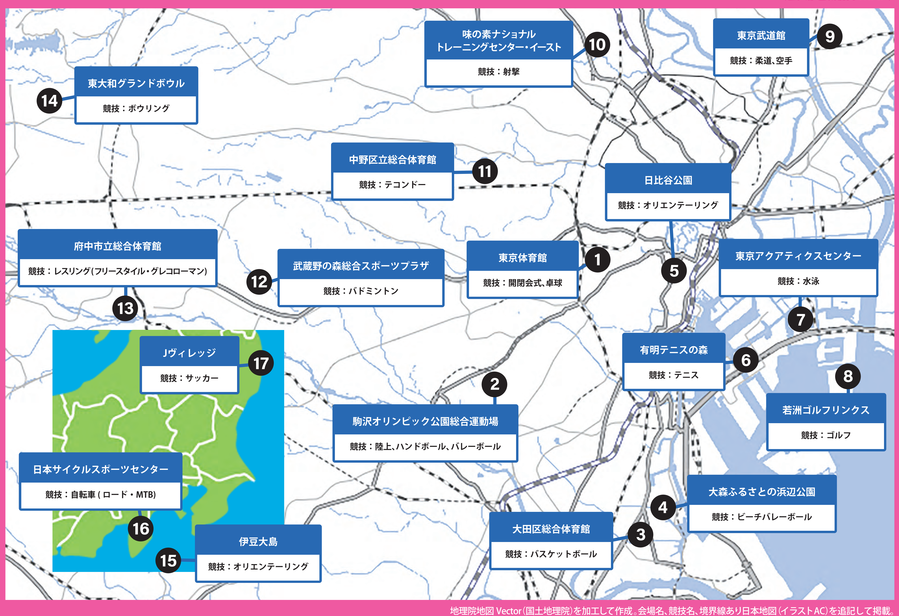
2025年、日本で初めて
国際スポーツ大会「デフリンピック」開催！

TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

〈大会概要〉

- ●大会名称　：　第25回夏季デフリンピック競技大会　東京2025
- ●日程　：　2025年11月15日(土)～26日(水)
- ●参加国　：　70～80か国・地域
- ●選手数　：　約 3,000人
- ●競技　：　21 競技
- ●競技会場　：　東京都、福島県、静岡県

〈会場と競技 MAP〉



地理院地図 Vector（国土地理院）を加工して作成。会場名、競技名、境界線あり日本地図（イラストAC）を追記して掲載。

制作・発行元：一般財団法人全日本ろうあ連盟　　協力：一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会

みんなでもりあがろう！
東京2025デフリンピック

2025.11.15[SAT]-26[WED]

TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

東京2025デフリンピック
大会エンブレム



東京2025デフリンピック
公式マスコット「ゆりーと」

きこえない・きこえにくい選手による国際スポーツ大会「デフリンピック」

だれもが個性を活かし力を発揮できる共生社会へ

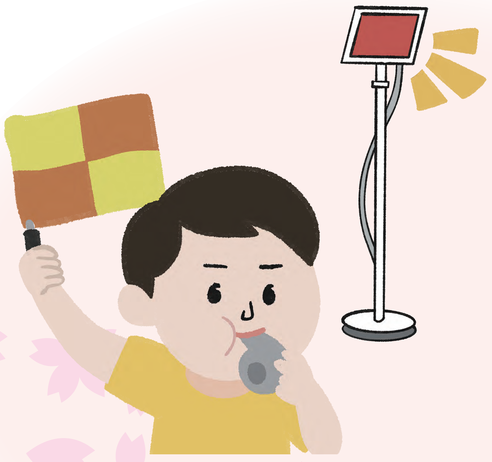
デフリンピックとは？

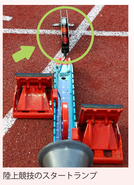


きこえない・きこえにくい選手の国際スポーツ大会です

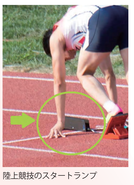
デフ(deaf)は、英語で「きこえない」という意味です。
競技ルールはオリンピックとほぼ同じで、きこえない・きこえにくい選手のための
視覚的保障がなされた競技環境があることがデフリンピックの特徴です。

視覚的保障って？





陸上競技のスタートランプ



陸上競技のスタートランプ



水泳競技のスタートランプ



サッカー競技では主審もフラッグを

ランプやフラッグを使って スタートなどを知らせています

陸上競技や水泳競技のスターターの音はフラッシュランプを使い、
きこえない・きこえにくい選手にスタートを知らせます。
サッカーやラグビーでは審判が笛を吹くとともに、
旗または片手をあげることで反則などが起きたことを、選手に知らせます。

制作・発行元：一般財団法人全日本ろうあ連盟　　協力：一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会

みんなでもりあがろう!
東京2025デフリンピック
2025.11.15[SAT]-26[WED]

TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

東京2025デフリンピック
大会エンブレム



東京2025デフリンピック
公式マスコット「ゆりーと」

きこえない・きこえにくい選手による国際スポーツ大会「デフリンピック」

だれもが個性を活かし力を発揮できる共生社会へ

どんな競技がある？

夏季デフリンピック 21競技



●陸上 ●バドミントン ●バスケットボール
●ビーチバレーボール ●ボウリング
●自転車(ロード) ●自転車(MTB)
●サッカー ●ゴルフ ●ハンドボール ●柔道 ●空手
●オリエンテーリング ●射撃 ●水泳 ●卓球
●テコンドー ●テニス ●バレーボール
●レスリング(フリースタイル)
●レスリング(グレコローマン)

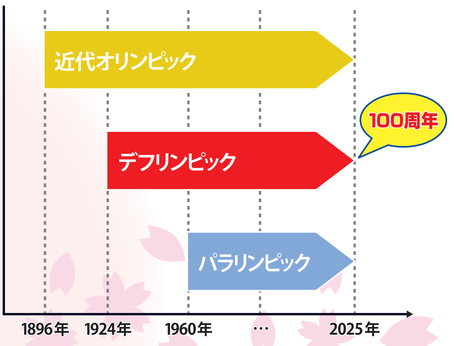
冬季デフリンピック 7競技



●アルペンスキー ●クロスカントリースキー
●スノーボード ●カーリング ●アイスホッケー
●チェス ●フットサル

デフリンピックの歴史は？





夏季デフリンピックは1924年に始まり、2025年は100周年

夏季デフリンピックは1924年にフランスのパリで始まり、
冬季デフリンピックは1949年にオーストリアのゼーフェクトで始まっています。
東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、日本では初めての開催になります。

制作・発行元：一般財団法人全日本ろうあ連盟　　協力：一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会

みんなでもりあがろう！
東京2025デフリンピック
2025.11.15[SAT]-26[WED]

TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

東京2025デフリンピック
大会エンブレム



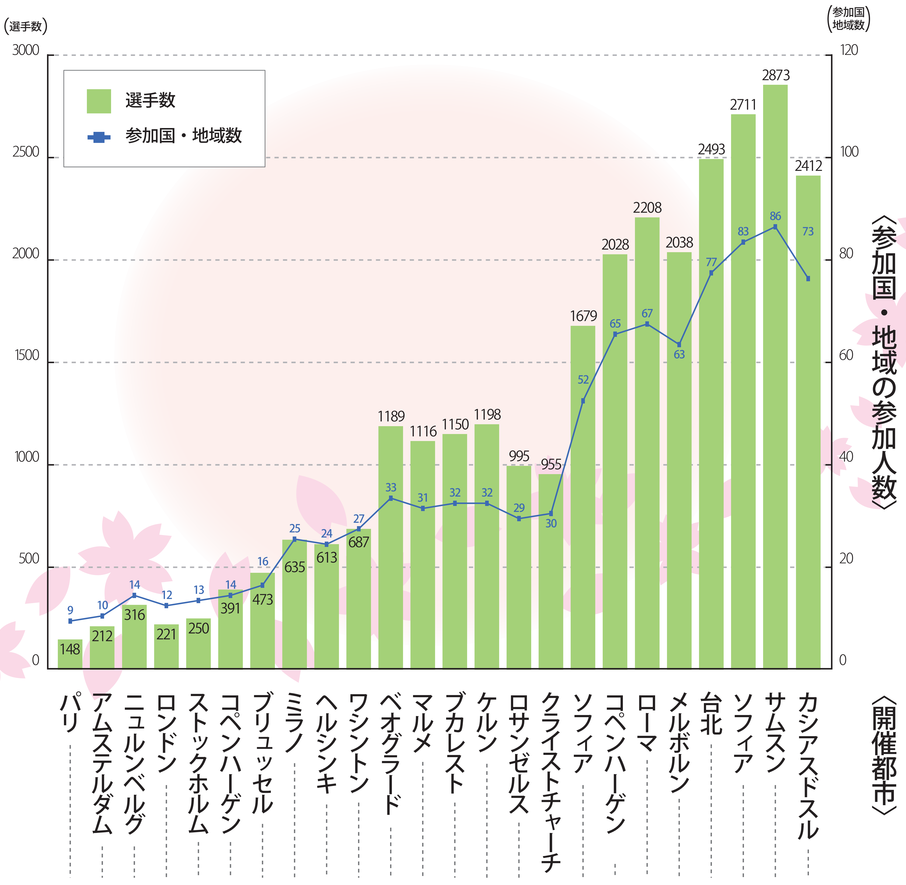
東京2025デフリンピック
公式マスコット「ゆりーと」

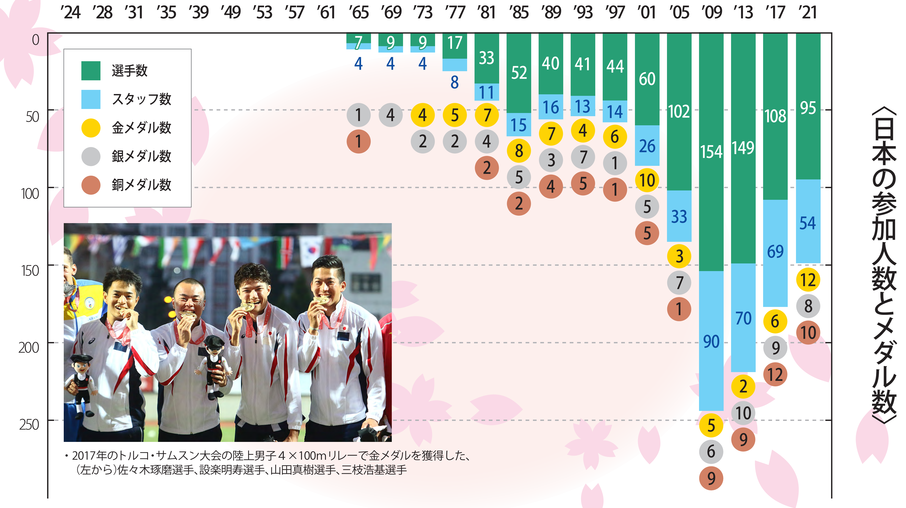
きこえない・きこえにくい選手による国際スポーツ大会「デフリンピック」

だれもが個性を活かし力を発揮できる共生社会へ

夏季デフリンピック

夏季デフリンピックは1924年にフランスで始まり、日本は1965年のワシントン大会から参加しています。夏季大会で初めてメダルを獲得したのは、1965年のワシントン大会で、中井リヲ子選手が卓球女子シングルスで銀メダルを獲得しました。





・2017年のトルコ・サムスン大会の陸上男子４×100mリレーで金メダルを獲得した、（左から）佐々木琢磨選手、設楽明寿選手、山田真樹選手、三枝浩基選手

制作・発行元：一般財団法人全日本ろうあ連盟　　協力：一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会

みんなでもりあがろう!
東京2025デフリンピック
2025.11.15[SAT]-26[WED]

TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

東京2025デフリンピック
大会エンブレム



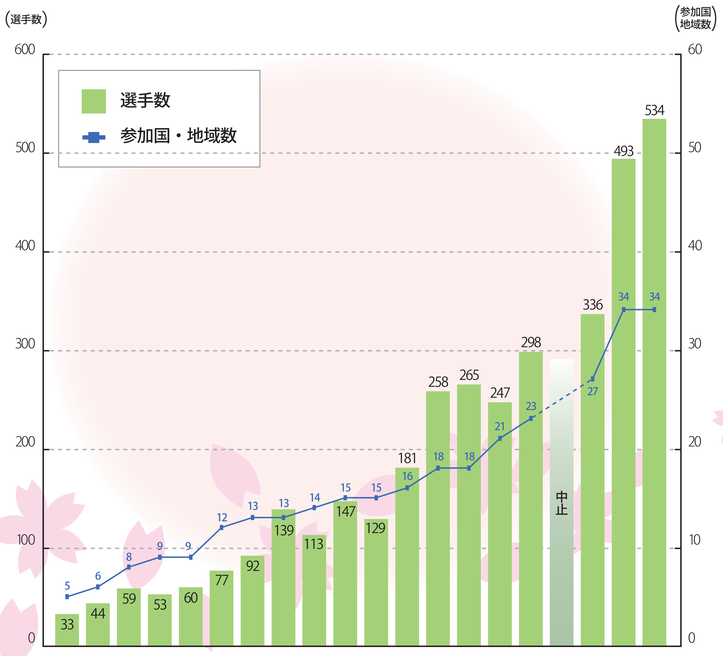
東京2025デフリンピック
公式マスコット「ゆりーと」

きこえない・きこえにくい選手による国際スポーツ大会「デフリンピック」

だれもが個性を活かし力を発揮できる共生社会へ

冬季デフリンピック

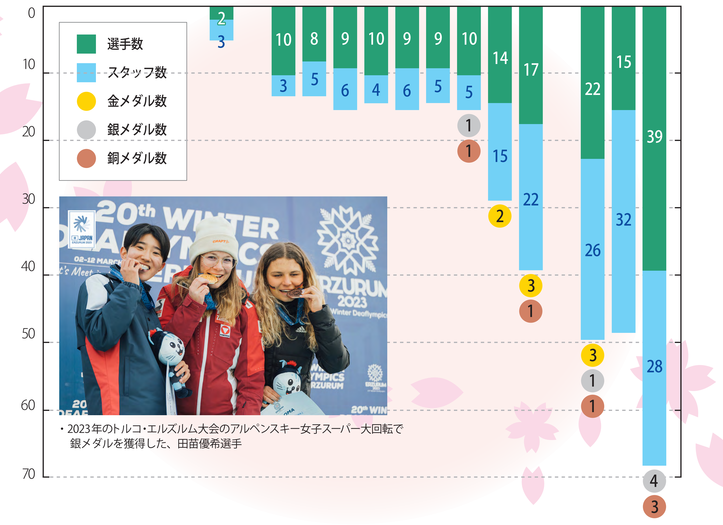
冬季デフリンピックは1949年にオーストリアにおいて始まり、日本は1967年のベルヒテスガーデン大会から参加しています。冬季大会で初めてメダルを獲得したのは、1999年のダボス大会で、伏見景子選手が女子回転で銀メダル、大回転で銅メダルを獲得しました。



〈参加国・地域の参加人数〉

エルズルム
ヴァルテッリーナ
ハンティ・マンシースク
ハイタトラス
ソルトレークシティ
スンツバル
ダボス
ユッラス
バンフ
オスロ
マドンナ
メリベル
レイクプラシッド
アーデルボーデン
ベルヒテスガーデン
オーレ
モンタナヴェルマラ
オーベルアンメルガウ
オスロ
ゼーフェクト

〈開催都市〉



・2023年のトルコ・エルズルム大会のアルペンスキー女子スーパー大回転で銀メダルを獲得した、田苗優希選手

〈日本の参加人数とメダル数〉

制作・発行元：一般財団法人全日本ろうあ連盟　　協力：一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会

みんなでもりあがろう!
東京2025デフリンピック
2025.11.15[SAT]-26[WED]

TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

東京2025デフリンピック
大会エンブレム



東京2025デフリンピック
公式マスコット「ゆりーと」

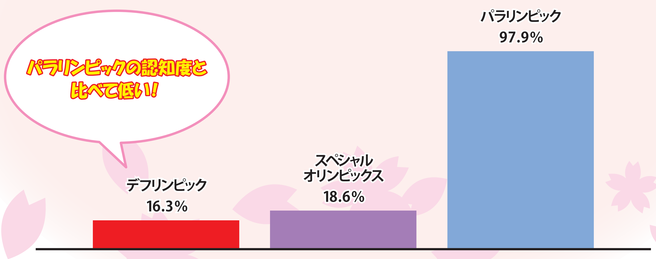
きこえない・きこえにくい選手による国際スポーツ大会「デフリンピック」

だれもが個性を活かし力を発揮できる共生社会へ

みんな知っている？

知っている人が少ない

2021 年に日本財団パラリンピックサポートセンターが行った調査結果では、
国内のデフリンピックの認知度は 16.3%でした。
テレビやインターネット、雑誌などで、デフリンピックの話題が少なく、
デフリンピックを知らない人が多いのが現状です。



わたしたちも支援したい！

まずはデフリンピック知名度アップにご協力ください！

デフリンピックは認知度が低いため、スポンサーが少なく経済的な負担が
大きいことや、遠征などを理由に職場で休暇が取りにくいことなどの
課題があります。

❶ Xやインスタグラム等のSNSで発信しよう！

選手や競技のこと、「デフリンピックを知ってる？」などを発信して、
デフリンピックの周知にご協力ください。

❷ デフスポーツ・サポーターになろう！

デフアスリートへの支援や競技環境の向上を通して、
デフスポーツの発展を目指しています。



デフリンピックをもっと知ろう！

最新の情報やデフスポーツ・サポーターの情報はコチラをご覧下さい

東京 2025 デフリンピック 大会ポータルサイト	X（旧ツイッター） 2025deaflympics	インスタグラム deaflympics2025	全日本ろうあ連盟 デフスポーツ・サポーター

制作・発行元：一般財団法人全日本ろうあ連盟　　協力：一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会

みんなでもりあがろう！
東京2025デフリンピック
2025.11.15[SAT]-26[WED]

TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

東京2025デフリンピック
大会エンブレム



東京2025デフリンピック
公式マスコット「ゆりーと」